

岐阜大学医学部看護学科 同窓会 会報 No.2

発行：岐阜大学医学部看護学科同窓会事務局
岐阜県岐阜市柳戸 1-1
<http://www.med.gifu-u.ac.jp/kango/gunurse/>

発行日：平成 29 年 8 月 1 日

平成二十八年度
『同窓会連合会の集い』

開催と出席の報告

平成二十九年三月六日に岐阜大学講堂にて第十八回岐阜大学同窓会連合会総会、第二回同窓会連合会の集いが開催されました。
平成三十一年に岐阜大学は創立七十周年を迎え、同時に岐阜大学基金及び同窓会連合会も十周年を迎えます。この節目に当たる年に本部、部局および地域が一体となった様々な事業を展開する『岐阜大学創立七十周年プロジェクト』の実施について説明がなされました。看護学科同窓会といたしましても岐阜大学同窓会連合会の一員として、母校である岐阜大学の発展のために協力していきます。同窓会員の皆様にもご理解とご協力をい

たいただきますようお願い申し上げます。



『岐阜大学工業倶楽部』
寄稿の報告

このたび、岐阜大学工学部・工業短期大学部同窓会である工業倶楽部の平成二十八年度会報において、『歩みを感じて』と題した看護学科同窓会の発足や活動内容に関する紹介記事が掲載されました。
工業倶楽部は、西濃支部・関東支部・関西支部を設置し、全国的に活動を展開しています。この工業倶楽部会報第三七号は、看護学科同窓会のほか、地域科学部同窓会「森の会」および応用生物科学部同窓会「各務同窓会」の紹介記事も掲載されており、全国へ発送されました。看護学科同窓生の

みならず、他学部同窓生へも広く看護学科同窓会について周知する機会を得ることができました。今回の工業倶楽部への寄稿ページを本会報巻末に添付しています。そちらもご覧ください。

岐阜大学では、前述した三つの同窓会のほか、岐阜大学教育学部同窓会と岐阜大学医学部同窓会が活動しています。これら各同窓会は、岐阜大学同窓会連合会として、岐阜大学の活動や状況についての卒業生の皆さんへの情報提供、各学部と同窓生との交流をさらに深めることを目的に今後活動を展開していきます。昨年度は、大学と同窓会との連携および学部同窓会間の連携をより一層深めるために第二回「同窓会連合会の集い」が開催されました。前述のとおり看護学科同窓会事務局員も出席しました。

看護学科同窓会の会員の皆様には、母校岐阜大学がより一層飛躍できまそう、岐阜大学医学部看護学科同窓会ならびに岐阜大学同窓会連合会に益々のご協力とご支援をいただきますようお願い申し上げます。岐阜大学同窓会連合会について、岐阜大学ホームページより閲覧することができます。



岐阜大学同窓会連合会

〔連絡先〕

〒五〇一-一八九三

岐阜県岐阜市柳戸一番一

岐阜大学本部内

(電話) 〇五八-二九三

・二〇〇七

ホームページアドレス

[http://www.gifu-u.ac.jp/c](http://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/association/g)

[ampus_life/association/g](http://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/association/g)

[_association.html](http://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/association/g)

平成二十八年度
看護学科講演会の報告

看護学科では、毎年、看護学科・専攻科に在籍する学部生や大学院生、同窓生、教職員、実習施設関係者を対象とした講演会を開催しております。これまで、川島みどり先生をはじめとした幅広いフィールドにおいて第一線で活躍している先生方を招いてきました。本同窓会は共催として携わり、同窓生へ講演会の開催について周知を行いました。

例年、学部生や臨床で働く看護職にとって動機づけの一助となるような講演会テーマを選定しておりますが、平成二十八年度は、天災や人災による被災地域・紛争地域における過酷な状況での医療活動に関する講演を通じて看護職をめざす学生および日常の医療に携わ

る専門職が医療・看護の原点を見つめ、それにより認識・知識が向上することを講演会の目標として企画しました。そこで今回は、紛争犠牲者の救護活動や現地スタッフへの教育、支援活動に長年従事している名古屋第二赤十字病院国際医療救援部の伊藤明子先生を招き、「世界中で苦しむ人々のために、災害のとき看護師としてできること」と題した講演会を平成二十八年十一月二十一日（水）に岐阜大学講堂にて執り行いました。

講演会当日は晴天にも恵まれ、学内外より三百名を超える参加者がありました。アフガニスタンをはじめとした紛争地域における傷つき苦しんでいる人々の現状、感染症や栄養失調で失われる命の数々、文化的背景による介入への困難、文化的配慮の工夫、自らも危険に晒されながら遂行する現地での医療活動・教育活動の実際など、多くの写真や動画とともに一時の間半におよぶ講演を賜りました。講演後には会場の学生より伊藤先生へ多くの質問が投げかけられ、活発な質疑応答となりました。参加者アンケートでは、「東日本大震災や熊本地震、各地での台風被害などによる被災地支援は身近な問題であり、とても興味深かった。」「教科書ではイメージができないことも、先生の体験をもとに災害の実際について学ぶことができた。」「災害と聞く」と自然災害を想像する人が生活するうえで発生する紛争という災害について考える機会となった。」「将来、看護師として海外で活躍したい」という思いが強くなった。」「という肯定的な意見が多く寄せられました。

講演を聞いた人の認識が刺激される貴重な時間となり、看護学生として、また看護職者としての気持ちを持ちました。参加者は会場を後にしました。

今年度、看護学科では、講演会や同窓生を対象としたイベントなど様々な催しを企画・主催する予定です。今回の会報にも複数の案内を掲載いたします。詳細は看護学科ホームページをご覧ください。多くの方々の参加をお待ちしております。

〔写真〕講演会当日の会場の様子。写真や動画など災害現地での生の様子が学生にも届けられました。



**看護学科人事異動および
教員・事務職員の紹介**

平成二十八年度 退職

老年看護学分野 助教

吉川美保先生

岐阜大学看護学科での教員経験は宝物であり、誇りです。お世話になりました。ありがとうございます。これからも卒業生の人として皆様のご活躍をお祈りします。

急性期看護学分野 助教

伊藤美智子先生

実習、演習など、大変お世話になりました。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

急性期看護学分野 助教

宮川瑞穂先生

平成二十五年四月に本校へ着任し、成人看護学講座急性期分野に四年間在籍しました。着任当初

を思い返してみると、看護職と異なる生活に戸惑いながらも教員として新たなスタートができたことに胸を躍らせていました。この四年間で多くの学生と出会い、教えることの難しさと向き合った日々も良き思い出です。振り返ればキリがないのですが、数々の楽しい思い出と温かいご支援をいただきました教職員の皆様に厚く御礼申し上げます。最後にになりましたが、本学科の益々のご発展ならびに皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

急性期看護学分野 助教

臼井かおり先生

在職中は大変お世話になりました。岐阜大学看護学科の学生さんは聡明で明るい印象です。私自身、学生さんから学ぶことも多くありました。卒業後は看護職となり活躍

している姿を拝見し、頼もしく思います。時には休むことも必要です。自分を大切にして看護職として頑張ってください。

母性看護学分野 助教

三尾亜喜代先生

看護学生時代に切磋琢磨した仲間は一生涯の友となることも多いです。仲間を大切に自己研鑽に努めて下さい。皆様方のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成二十八年度 着任

基礎看護学分野 准教授

魚住郁子先生

平成二十八年度の着任いたしました魚住郁子です。現在、看護師のストレスと、ストレス関連成長に関する研究を行っています。同窓会の皆様、ストレスに曝され大変なことも多いと存じますが、そこから成長できると信

じて、ともに頑張りましょう。

生命機能学分野 准教授

寺田知新先生

平成二十八年四月より生命機能学分野に赴任いたしました寺田です。同窓会の皆様には学生の教育等でお世話になることも多いと思いますが、宜しくお願い申し上げます。同窓会のますますのご発展を祈念いたしております。

小児看護学分野 助教

細野亜里先生

平成二十八年六月〜平成三十年三月在籍

慢性期看護学分野 助教

柿田さおり先生

平成二十八年度、成人・老年看護学慢性期分野に着任いたしました柿田さおりと申します。今後も、岐阜大学医学部看護学科同窓会のますますの発展および、同窓生皆様におかれましては、一層のご活躍を祈念しております。

基礎看護学分野 助教

佐野由美先生

平成二十八年四月より着任いたしました佐野由美です。母校で教員としての第一歩を踏み出すことができ喜びを感じております。基礎看護学に携わりながら、看護学生の学びを支えていきたいと思えます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈り申し上げます。

地域看護学分野 助教

池上由美子先生

平成二十八年四月〜平成二十九年九月在籍

精神看護学分野 助教

田中千絵先生

平成二十八年十月より精神看護学の助教として着任致しました。まだ教員経験も浅いですが、努力を重ね、邁進してい

きたいと思っております。宜しくお願い致します。

養護教諭課程 特任教授

黒木伸子先生

平成二十八年四月より
在籍

平成二十九年度 着任

基礎看護学分野 准教授

社本生衣先生

この度、平成二十九年四月一日付で着任いたしました。看護の基盤となる「原理原則」と「科学的な根拠」を常に意識して教育に従事しております。微力ではありますが精一杯職務を果たしてまいりたいと思えます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

急性期看護学分野 助教

三枝聖美先生

今年度より着任いたしました、三枝聖美と申します。私自身、岐阜大学

医学部看護学科の卒業生であり、母校で教員として働くことができることを大変嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

看護学科学務係

学務係長 岸尾奈津子さん

皆様の社会でのご活躍を心より願っております。大学のことを思い出した時、大学に立ち寄りたくなつた時、大学の空気を吸いたくなつた時はぜひお顔を見せて下さい。そして学務にもぜひ、お声をかけて下さい。

学務主任 古川維美さん

岐阜大学医学部看護学科の卒業生の皆様のみならずのご活躍をお祈り申し上げます。

事務職員 野村惇貴さん

同窓生の皆様。岐阜大

学部の近くにお越しの際は、気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

※七月より医学部総務係へ異動

事務職員 平光友紀子さん

在学中は、いろいろ助けていただきありがとうございました。今後は、

より、健康に気をつけて、皆様の活躍を心よりお祈り致しております。

学務係シニアアドバイザー 長谷川義則さん

医学部看護学科を卒業された同窓会会員の皆様へ。

本学科をご卒業され、県内外を問わず、幾多の医療機関の中枢でご活躍されていることと存じます。これからは、益々、高齢社会となることが必然であり、如何に病と向きあ

って生活することの重要性が求められており、みなさんはその抛り所とな

ります。入学時の看護師等への志を糧に、一層のご活躍を期待します。

会報へメッセージを寄せてくださった皆様、ありがとうございます。

また、掲載した方々のほか、六月一日より老年看護学分野へ助教として小島愛子先生、七月一日より急性期看護学分野へ助教として阿部誠人先生、学務係へ吉岡文香さんが

着任しました。

退職された先生方、長い間お世話になりました。講義や演習、実習で直接指導を受けた同窓生も多いと思えます。先生方のお祈り申し上げます。今後の活躍とご多幸を祈り申し上げます。

そして、新しく岐阜大学医学部看護学科へ着任された先生方、事務職員の皆様、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

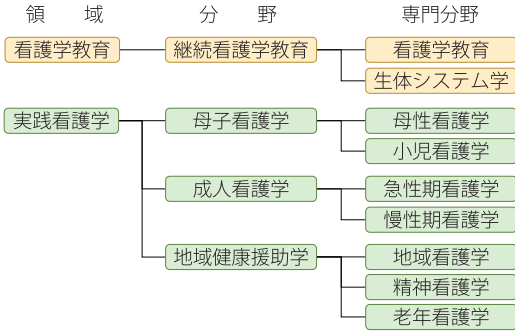
同窓会役員および学年代表一覧

〔同窓会役員〕

会長：中村真夕さん 副会長：志津綾奈さん
会計：川本みな実さん、矢島沙織さん
広報：服部未花さん

〔各学年代表〕

1 期生：大橋留美さん 2 期生：長谷川文子さん
3 期生：伊藤美智子さん 4 期生：宮川瑞穂さん
5 期生：岩屋早苗さん 6 期生：笹川亜紗子さん
7 期生：紅林麗さん 8 期生：中村真夕さん
9 期生：小椋翔子さん 10 期生：江崎文菜さん
11 期生：野田隆さん/清水恵理さん
12 期生：遠山佑衣さん 13 期生：奥村彩乃さん
今年度は第 14 期生 78 名が卒業を控えています。



岐阜大学大学院医学系
研究科看護学専攻は、1
学年8名の定員で、平成
17年4月に開設され、12
年の間に66名の修了生を
輩出してきました。現在
の看護学専攻は、右図の
ような構成で、現在も23
名の院生が在籍し、学ん
でいます。

**看護学専攻で
学びませんか**

看護学専攻
学務委員長
杉浦 太一

修了生からのメッセージ
(看護学専攻パンフレットより)

私は、臨床で経験してきたものをもっと専門的に学びたい、そして看護を目指す人たちに伝えていけたらという思いから入学を決めました。大学院では、それぞれの分野で活躍している人たちが同じような思いで学びに来ており、専門分野の立場から意見を交わし、議論し合うことができました。そのような経験から、深く追求する楽しさや考える面白さを学びました。働きながらの勉強は大変でしたが、先生方や同級生たちの支えがあって修了することができました。大学院ではきっと良い出会いや経験ができると思います。



修了生 大平幸子さん

修了生 大平幸子さん

看護学科卒業生の入学

(058-293-3217/3218)

看護学専攻には、学務委員会を置き、カリキュラムや時間割の検討、および、学位論文審査方法等を検討し、院生がより学びやすくなるように努力しています。また、仕事と大学院での学修を両立できるように長期履修制度も積極的に取り入れられています。

修了生は、臨床だけでなく、大学や短大の教員としても活躍していますし、8割強が大学院で学んだことを活かしていると答えています。

もありませんが、まだまだ少ない状況となっております。卒業生のみならず、ぜひ看護学専攻への入学を考えていただけたらと思います。表は、過去2年間の修了生の修士論文テーマです。看護学専攻ホームページには、過去の修士論文テーマが全て掲載されていますのでご覧下さい。入学に関しては、岐阜大学および看護学専攻の入試関連ページを見ていただくか、看護学科学務係にお問い合わせ下さい。

表 過去2年間の修士論文テーマ

- 子どもの発熱により二次医療圏夜間救急外来を受診する母親の動機と関連因子の検討 ―救急外来と小児科を比較して― (急性期看護学)
- 准看護救命士の職業的アイデンティの構成要素 (精神看護学)
- 精神障がい者の一般就労とその支援に関する就労支援機関職員と精神科看護師の考え方 (精神看護学)
- 大学病院に勤務する臨地実習指導者の役割ストレスに関する研究 (急性期看護学)
- 小児がん患児に付き添う母親の入院初期に直面する出来事の捉え方 (小児看護学)
- 主体的な社会参加につながるピアサポート体験 ～統合失調症者が語った相互影響～ (精神看護学)

**看護学科社会貢献部会
からのお知らせ**

社会貢献部会長
竹下 美恵子

看護学科では、社会貢献の一環として、地域住民や看護職、看護職を目指す方たちへのトータルサポートを行うために、

- ① 卒業生支援プログラム、
 - ② 専門職教育プログラム、
 - ③ 高大連携プログラム、
 - ④ 地域住民と共に学ぶプログラム、
- からなる「看護職輝き輝き(イキイキ)プロジェクト」を平成28年度から開始しました。平成29年8月10日(木)には「第1回看護学科フオーラム つ・な・ぐ」を開催します。メイン企画は「明日に向けて看護の道をあゆむ」です。
- また、専門職教育プログラムとして、第3回看護研究研修会「看護研究のテーマをみつける」を同時開催します。平成29年度は、10月26日(木)「量的結果の読み方(仮)」と1月23日(火)「じょうずな発表に向けて(仮)」、3月(日程内容未定)にも看護研究研修会を開催します。社会貢献部会のプログラムの詳細は次までお問い合わせ下さい。

g.jme00629@jim.gifu-u.ac.jp

看護学科社会貢献部会
より「Home Coming Day」
開催のお知らせ

岐阜大学医学部看護学科社会貢献部会卒業生支援プログラムの活動の一環として、岐阜大学医学部看護学科同窓会にご協力いただき、今年度「第1回 Home Coming Day」を開催する運びとなりま

した。

「Home Coming Day」

を開催する目的として、①卒業生同士が助け合い、刺激し合い、お互いに研鑽できる場、②岐阜大学看護学科の教育や研究の現状を知る機会、③卒業生と在校生及び教員とのきずなを深める機会、④教員が、卒業生の現状を知り、さらに卒業生から

最新の保健医療福祉の現状を得る機会、の4つを掲げ、今年度は「みつめよう 自分の未来」をテーマとし、ミニ講演会と卒業生交流会を企画いたしました。本学をご卒業された皆様は、看護を志した原点に戻って「看護職である私がどう生きていきたいのか」を考えると

幸いです。また、「Home Coming Day」を通じて、卒業生同士のつながりを深め、将来的には卒業生による卒業生と在学中の後輩のための「Home Coming Day」としたいと考えております。その先駆けとしまして、岐阜大学医学部看護学科第1期生の皆様に、来年度の「Home Coming Day」の企画にご協力をお願いいたたく存じます。

活気づけ、発展させるため、本同窓会はクラス会（同期生が集合して実施する同窓会）開催支援を計画しております。具体的には、開催費用の一部負担を検討しています。このクラス会開催支援をきっかけにし、「クラス会をしよう」という話題が同窓生の皆様からあがれば同窓会役員及び事務局一同嬉しく思います。詳細が決定いたしましたら岐阜大学医学部看護学科同窓会ホームページにてお知らせいたします。



岐阜大学卒業生支援プログラム

第1回 岐阜大学医学部看護学科

Home Coming Day

～みつめよう 自分の未来～



キャリアアップ、異動や転職、結婚・出産などのライフイベント等、これから人生の大きな分岐点を迎える方も多いのではないのでしょうか。母校で、先輩方の話を聞き、旧友や恩師と交流し、看護を志した原点に戻って、自分自身の未来について一緒に考えてみませんか？

開催日時 **2017年 8月10日 (木) 15:05~16:30**
◆Home Coming Dayに先立って看護学科フォーラムを開催しております（別紙参照）。

会場 岐阜大学医学部看護学科 講義室 3

◆15:05~15:45 ミニ講演会
「今、がん専門看護師として思うことー私のあゆみー」
苅谷 三月氏/岐阜大学医学部附属病院 看護師長・がん看護専門看護師
◆15:50~16:30 卒業生交流会

対象 卒後1年目・3年目中心 その他の卒業年の方も大歓迎です！

参加費 無料

申込方法 別紙「岐阜大学医学部看護学科フォーラムのお知らせ」をご参照の上、お申し込みください（当日参加も可能です）。

岐阜大学医学部看護学科 社会貢献部会
岐阜大学医学部看護学科プロジェクト
TEL 058-293-3218 〒501-1193 岐阜県岐阜市榑戸1番1
E-Mail gjme00629@jim.gifu-u.ac.jp
後援：岐阜大学医学部看護学科同窓会

クラス会開催支援の
お知らせ(予定)

ご多用中誠に恐縮ではございますが、1期生の皆様、またその他の卒業生の皆様にも、「Home Coming Day」にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

岐阜大学医学部看護学科同窓会の活動をさらに

看護学科における本会報へ掲載した以外の各種研修や報告について看護学科ホームページにて随時お知らせしております。ぜひ会報とあわせてご覧ください。

平成28年度岐阜大学医学部看護学科同窓会収支決算書

自:平成28年3月1日
至:平成29年3月31日

○収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	備考
繰越金		2,832,712	
利息		21	
退官記念パーティー参加費		75,000	参加者
寄付		12,340	江村先生・松田先生より寄付(5000円×2) 同窓生より寄付(2000円) ゼミ生より寄付(340円)
本年度預かり会費		780,000	13期生より(78名分)
卒業生会費		35,000	7名分
収入合計		3,735,073	

○支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	備考
事務経費			
事務費		125,530	同窓会事務局ネームプレート(8640円+手数料108), 事務局机等(116782円)
ホームページ		227,016	サイエンスネット(226,800円+手数料216円)
事業経費			
退官記念パーティー		223,766	岐阜グランドホテル(附属病院ファイン)223,550円+手数料216円
寄付金		150,000	H28年度(7月)岐阜大学医学部看護学科
卒業記念品		84,070	H28年度学位授与式記念品贈呈 ジェットストリーム(84,070円)
会報		241,650	第1回会報発行
懇親会費		2,324	同窓会連合会懇親会費2016/9/26(平林様)2,000円+手数料324円
本年支出合計		1,054,356	
本年収支差額		2,680,717	
次年度繰越金		2,680,717	

監査報告

岐阜大学医学部看護学科同窓会会則第20条により、平成29年3月31日に平成28年度の収支決算について、監査を執行し関係書類を調査したところ、いずれも正確かつ妥当であると認めましたので報告します。

会計 川本 美奈



<同窓会費入金のお願い>

同窓会会費を未納の方が多数います。下表に各卒業生の入金額が提示してあります(平成29年3月31日現在)。同窓会の活動の趣旨をご理解いただき、ホームページをご確認の上、指定口座への振込をお願いいたします。なお、3期生、4期生、12期生、13期生につきましては、全員入金が完了しています。

通帳残高(H29.3.31)	1期生通帳	5,000円	口座番号:1591021
	5期生通帳	25,000円	口座番号:1590414
	6期生通帳	0円	口座番号:1590422
	7期生通帳	20,000円	口座番号:1590430
	8期生通帳	5,000円	口座番号:1590448
	9期生通帳	0円	口座番号:1590455
	10期生通帳	0円	口座番号:1590463
	11期生通帳	10,000円	口座番号:1591013

岐阜大学同窓会連合会について

岐阜大学医学部看護学科同窓会『歩みを感じて』

医学部看護学科同窓会事務局 岩屋 早苗 (看護 H.21)

皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

本同窓会(以下:本会と表記)の発足経緯は、岐阜大学医療技術短期大学部を前身としており、岐阜大学医療技術短期大学部同窓会を引き継ぎ「岐阜大学医学部看護学科同窓会」として発足いたしました。

しかし、これまで、本会は積極的な活動には至っておりませんでした。そこで気持ち新たに本同窓会の活性化を図ろうと、まずは事務局の設立、事務局構成員の編成を行いました。これらの過程においては、本学科前身である短期大学部ご卒業の諸先輩方や本学科教員の先生方からも多大なるご協力とご支援をいただき、平成28年には本学科内の一角に事務局を新設することができました。

本会の具体的な活動としまして、昨年3月には、第一回同窓会総会及び退官教員2名の退官記念パーティーを主催いたしました。退官記念パーティーでは、在校生と卒業生と共に恩師を囲み、日本社会の少子高齢化がすすむなかで看護職が抱える課題や看護の発展性について話す貴重

な機会となりました。

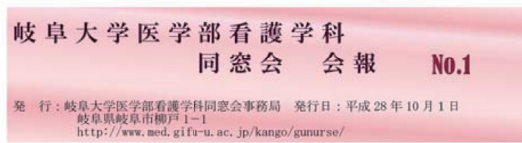
さらに、本会では、事務局の設立や活動の実際を同窓生と共有するため、10月には第一報となる会報(図1)を発行いたしました。本会の活動に対する皆様方のご理解とご協力をいただいたことで、微力ではございますが活動が実り、卒業生に対し本会の周知が叶いつつあります。実際に、本会事務局へ卒業生からの問い合わせが増えるなど、本会の活動に関心を頂いている状況を嬉しく感じております。

また、本会では、卒業生だけでなく、ゆくゆく同窓生となる在校生へも本会の周知と活動の理解を得られるよう力を入れて活動を進めております。その一例として、昨年12月には本学科後援会主催講演会(図2)にも寄付を行い、共催というかたちで講師を招き講演会を終えることができました。

今後もこのような活動を続け、卒業生および在校生とのつながりを密にし、ともに歩み、看護学科同窓会のさらなる発展に尽力する所存です。

終わりにあたり、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。また、本同窓会に寄稿の依頼を賜りました工業倶楽部の皆様にご感謝申し上げます。

1 岐阜大学医学部看護学科 同窓会会報 No.1



同窓会会長 挨拶
第八期卒業生 中村 真夕
皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。私共は、平成二十五年が同窓会発足五周年となり、大役をお引き受けすることになりました。平成二十三年に卒業し、岐阜大学医学部附属病院に入職し、五年目になります。未熟者ではありますが、精一杯努めていたいたしますので、何卒ご支援ご協力をお願いします。よろしくご協力をお願い申し上げます。

同窓会の活性化をはかり、同窓生でもある学科の先生方により看護棟内に事務局が開設されました。平成二十八年三月には第一回同窓会及び江村教授・松田教授の退官記念パーティーを開催することが出来ました。また、こうして会報紙を発行する運びとなり、同窓会活動の第一歩を踏み出せたこと心から感謝申し上げます。

本同窓会は、(員相互の親睦と向上を図り、岐阜大学の発展に寄与することを目的として)います。岐阜大学医療技術短期大学の創立から二十余年、卒業生は千名余りとなり、本会の皆様のおかげで、分けては置けません。今後は、皆様と同窓会を通じて交流し、さらには母校との繋がりを深めること、お互いの向上に役立つような活動ができればと思います。第一回同窓

に、会員の方から、今後は同窓会の開催と併せて、看護棟に開設した講義室や研修室を、関係するのほうから、このような皆様のご意見をお力添えを頂きながら今後の同窓会の運営や活動内容を検討し、同窓会を発展させていきたいと考えております。また、現同窓会名簿の整備や同窓会会費の振込の整頓及び行っておりませんが、非常に困難な状況であり、

図1 岐阜大学医学部看護学科 同窓会 会報

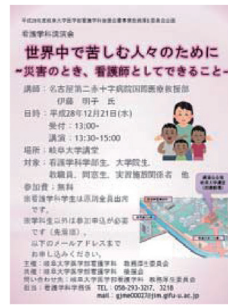


図2 平成28年12月に開催した看護学科講演会案内ポスターと講演会の様子

